



ALSOK群馬株式会社

警備業のリーディング カンパニーとしてお客様と社会の 安全確保に日々貢献



前橋市

住 所・・・前橋市大渡町2-1-5
T E L・・・027-252-5454
U R L・・・<https://www.g-alsok.co.jp/>
代表者・・・浦 友治
設 立・・・1974年4月8日
資本金・・・10,000千円
従業員・・・352名

WEBサイト



事業者紹介

当社は、「ありがとうの心」と「武士の精神」を経営の基本精神に掲げ、日本の警備業におけるリーディングカンパニーとして、お客様と社会の安全確保に日々努力しております。常駐警備や巡回警備、防犯システムの導入、緊急通報サービスなどを行い、地域の安全を守ります。

社会インフラの一翼を担う企業として、警備のプロとして、緊急時にいち早くお客様のもとへ駆けつけ、「安全・安心」をご提供致します。

経緯・背景

企業は社会の一員として、環境や社会に対する責任を果たす必要があると考えています。ALSOK群馬は警備業を中核とした事業を提供するリーディングカンパニーとして、地球環境問題が人類共通の課題であるとの認識のもと、経営理念である「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって、持続可能な社会の実現を目指すべく、継続的改善に取り組んでおります。

住み続けられるまちづくりを 目指して警備のプロとして 子どもたちの安全を守る活動を

具体的な取組・成果

1. 小学校へ、警備のプロであるALSOK社員を講師として派遣
小学校や、児童を標的とした犯罪の増加に伴い、「子どもたちの安全」が社会問題となっている今、ALSOKでは企業市民、警備会社としての社会的責任を果たすため、守りのプロである当社社員を講師として派遣する防犯授業「ALSOKあんしん教室」を2005年から実施しています。これまで224校、18,998名が受講されております。



2. 社員の働きがいの向上への取組
 - ・女性のみではなく男性の育児休暇取得の推奨
 - ・女性活躍の推進
 - ・各種ハラスメント防止の徹底
 - ・年2回のメンタルヘルス教育および、通信教育の機会
 - ・希望する職種にチャレンジできるジョブマッチング制度
 - ・役員とのキャリアアップ面談



3.CO2排出削減

2020年10月に太陽光パネルを設置し月平均8%程度の電力を自社発電でまかっています。

その他、空調機をリプレースする際、集中リモコンを設置し、過剰なエアコンの温度設定をコントロールしています。

今後の取組として太陽光パネルの増設、蓄電池の導入、EV車の増車を検討しています。自社発電によるEV車両の充電、未使用EV車からの放電による電力の供給も視野にいられています。



当社にとってのSDGsビジョン

「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって社業を推進し、お客様と社会の安全・安心の確保の為、最善を尽くし、SDGsの経営理念である「住み続けられるまちづくりを」、「平和と公正をすべての人に」の目標達成に貢献いたします。

今後の展望と求めるパートナー像

「共想と共創」の発想で、すべてのステークホルダーと情報共有・サポートし合い、信頼される企業を目指し安全・安心の為に活動し続けます。



石川建設株式会社

SDGs宣言で 社員が協力し合いながら 実現に向けて邁進



📍 太田市

住 所・・・太田市浜町10-33
T E L・・・0276-45-1621
U R L・・・<http://www.ishikawa-inc.co.jp>
代表者・・・石川 雅之
設 立・・・1940年5月1日
資本金・・・371,883千円
従業員・・・244名

WEBサイト



事業者紹介

昭和15年の創業以来80年以上、総合建設業者として「お客様に対する感謝の心」「社会に対する奉仕の心」という基本精神を高め、～創造へのロマンに燃えて～全社一丸となって社会資本整備の構築に邁進してまいりました。

現在では、関東一円を営業基盤として、生産・物流施設、医療・福祉施設、保育・学校施設、土木インフラ施設等幅広い分野で成長してまいりました。これも皆様方のご支援・ご指導の賜物であり深く感謝申し上げます。

これからも「顧客満足」「社員満足」「協力業者満足」「地域満足」を追及し企業価値の向上を目指してまいります。

経緯・背景

当社は「建ててからが本当のお付き合い お客様社員 協力業者 地域の皆様 から『石川建設で良かった!』を実現する」ことを企業ビジョンとして掲げ、邁進してまいりました。そのような中で、SDGs宣言を2022年に行い、テーマを明確に示し、社員がその実現に向けて協力しあいながら社会資本の構築を通じて持続可能な社会の実現に向けた取組を推進しています。

日本一感動する 職場を目指して 働きがいの創出に努める

具体的な取組・成果

石川建設が取り組むSDGs

SDGs推進でステークホルダーと感動を共有する!

●製品サービス

「建ててからが本当のお付き合い」

低価格で高品質な建造物の提供とメンテナンス体制の確立により、生涯お客様の安心・安全を支え続けます。



施工実績

●環境

建物の快適性と省エネルギー（ZEB化）の両立を目指し、技術の蓄積と再生エネルギーの構築を図ると共に、これらを積極的に社会に発信し、拡大していきます。

●地域貢献・社会貢献

私たちは創業以来、社会資本整備事業に携わる者として、インフラ整備と共に地域社会の価値向上に努め、地域に密着した活動を推進していきます。



●人権・労働

「日本一感動する職場をつくろう」を基本として安全で健康な職場環境を築くと共に、働きがいの創出に努め「石川建設で良かった!」を実現します。



当社にとってのSDGsビジョン

当社はこれまでも社会資本整備の構築に邁進してまいりました。

これからもSDGsの目標である『だれ一人取り残さない』持続可能でよりよい社会実現に向け、社会に根差した企業として、『顧客満足』『社員満足』『協力業者満足』『地域満足』を追求し、『石川建設で良かった!』を実現してまいります。

今後の展望と求めるパートナー像

～ISHIKAWA NextStage10～
働き方改革推進
CHANGE ISHIKAWA!
SELECTED ISHIKAWA!

「変わる石川建設」「選ばれる石川建設」へ
今後も「石川建設で良かった!」を社員全員で実践し、ステークホルダーの方々と感動を共有し、100年企業を目指してまいります。



岩井建設株式会社

様々なインフラ建設事業を通じて 安心・安全なまちづくりへ貢献



富岡市

住 所・・・富岡市神農原70番地2
T E L・・・0274-63-6527
U R L・・・http://www.iwai-site.co.jp/
代表者・・・岩井 秀昭
設 立・・・1955年8月29日
資本金・・・48,000千円
従業員・・・124名



事業者紹介

当社は創業以来培った技術力の向上と自然や環境と調和し、健康や安全への配慮を常に心がけ、快適な住環境の創造と安心して暮らせる社会への貢献に一貫して取り組んでまいりました。

また、人材育成の方針でもある、社員一人ひとりが自らのレベルアップを自律的・主体的に実践していくことで人材(Human resource)から人財(Human capital)へ、まさに材を生かして財をなすことを理念としております。

それは、これからも変わらない姿勢、企業としての使命と考えており、「確実」に「信頼」され「安心」できる社会作りへと邁進していきます。

経緯・背景

当社は、地域社会への貢献と災害対応を軸にSDGsを推進しています。公共施設やインフラ整備を通じて、安心・安全なまちづくりを実現するとともに、災害時には安否確認システムや自社建設重機を活用し、迅速な復旧体制を整備しています。さらに、ドローンやICT建機など最先端技術を活用することで、施工効率化と環境負荷軽減を両立。地域住民が安心して暮らせる持続可能な社会を目指し、技術革新を取り入れた取組を進めています。

最先端技術の導入で 効率化と精度向上を図り 持続可能な業務推進に寄与

具体的な取組・成果

●災害対応の強化 迅速な復旧体制

災害発生時には、迅速な復旧対応が求められます。当社では、社内安否確認システムの導入や、自社所有の建設重機や発電機、工具類の整備を進めることで、緊急時の体制を強化しています。また、災害復旧作業の経験を生かし、より強靱で持続可能なインフラづくりを推進しています。これにより、地域社会の災害対応力向上にも貢献します。

●ICT技術の活用による効率化と持続可能性の向上

当社は、ドローンやICT建機といった最先端技術を積極的に導入し、建設現場の効率化と精度向上を図っています。これにより、施工時の資源消費を抑え、環境負荷を軽減することが可能です。また、3Dデータを活用した施工計画や現場管理を導入することで、無駄のない建設プロセスを実現しています。施工前に詳細な計画を立てることができ、資材の最適化や工程の効率化が進みます。進捗状況を正確に把握できるため、迅速な意思決定が可能となり、品質の向上とコスト削減を実現しています。この技術の導入は、持続可能で効率的な建設業務の推進に寄与しています。



3Dデータ作成画面



ICT活用工事現場



ICT建機



最新鋭コンクリートプラント

当社にとってのSDGsビジョン

最新のICT技術を活用した効率的なインフラ整備を通じて、地域社会の安全・安心を支えることです。環境負荷を軽減し、持続可能なインフラの構築を推進し、住み続けられるまちづくりに貢献します。

今後の展望と求めるパートナー像

地域社会の安全・安心を守るため、災害対応力の向上や持続可能なインフラ整備をさらに推進していきます。特に、最新のICT技術を活用し、効率化と精度向上を実現し、環境負荷を軽減する施工方法を積極的に導入していきます。また、未来に向けた強靱で持続可能なインフラの構築を目指し、地域密着型の事業運営を進めます。



株式会社エヌエスケーエコーマーク

IT技術投資や品質の安定に 積極的に取り組み 価値ある技術の実現へ



所在地 東吾妻町

住所・・・吾妻郡東吾妻町大字箱島1690-1

TEL・・・03-3207-4004(東京本社)

URL・・・http://www.nskechomark.co.jp

代表者・・・西牧 寛次

設立・・・1985年11月19日

資本金・・・10,000千円

従業員・・・113名

WEBサイト



事業者紹介

当社は1985年設立以来、スポーツ関連のマーク加工業務で発展し、顧客満足・従業員満足・企業満足を理念に活動しております。「スピード・サービス・スピリッツ」の3S方針で「想像力・創造力・行動力」を掲げ、アパレル企画やデザイン企画に携わり、数々の優れたマーク加工技術を実現してまいりました。

また、IT技術投資も積極的に推進し、業務の最適化と品質の安定に惜しみない努力を継続中です。

これからもスポーツアパレル関連の国内市場を軸に、価値ある技術をご提供いたします。

経緯・背景

当社では、SDGsを単なる企業活動の一部としてではなく、社会的な流れとして捉えております。

これからのビジネス環境においても、SDGsへの取組は必要不可欠であり、これを無視することはできない状況です。当社では以前からSDGsに近い取組を行ってきており、一定の成果を上げてきましたが、現状に満足することなく、さらなるステップアップを目指す必要があると感じております。

これを機に既存の取組を強化するとともに、より持続可能な未来を実現するための努力を続けていくことを決意しました。

生地端材のリサイクルで 廃棄物の削減 社員の働きがいの向上も考慮

具体的な取組・成果

5.ジェンダー平等を実現しよう 10.人や国の不平等をなくそう

私たちは外国人労働者を積極的に採用しており、その多くは女性です。彼女たちの経済的自立やキャリア発展を支援することで、働きがいを提供しております。また、女性管理職の積極的な登用も行っており、職場における女性のリーダーが増えることで、意思決定の多様性が向上していると感じております。



8.働きがいも経済成長も

2024年の4月に自動シルクスクリーンプリント、自動たたみ機を導入しました。

従来、手動で行われてきた作業や、属人化した作業を、機械化・自動化することで労働者の負担軽減をしつつ生産性が向上しております。



11.住み続けられるまちづくりを

当社は、閉校となった中学校の建物を工場として再利用しております。地域資源を有効活用することで建物の解体などによる環境負荷を削減するとともに地域の雇用を創出することで、地域経済の活性化にも貢献しております。

12.つくる責任つかう責任

生産工程の中で発生する生地端材をリサイクル業者に繊維くずとして提供し、自動車の内装用の緩衝材として再利用していただいております。2023年度は年間で9,950kgの端材を繊維くずとして処理しており、廃棄物の削減を実施しております。



生地端材

ISO9001:2015(JIS Q 9001:2015)を取得している他、外資系企業による工場監査にも合格しております。

当社にとってのSDGsビジョン

社員ひとりひとりがSDGsの重要性を理解し、意識を高め、積極的に取り組んでいくことを目指しています。

また、この取組を積極的に発信していくことで、社内だけでなく社外にもSDGsの輪を広げ、より多くの方々と共に協力して持続可能な社会の実現に貢献したいと考えております。

今後の展望と求めるパートナー像

当工場では多くの資材を利用しており、それらは人体や環境に負荷を与える可能性があります。

今後はより負荷の少ないものを選定していくことが必要であり、そのような資材を提供するメーカーをパートナーとして考えていく必要があります。



群馬 SAKE TSUGU

「群馬の地酒」の魅力発信で 伝統産業の継承と発展に寄与



前橋市

住 所・・・前橋市中内町255-1

T E L・・・090-9017-2335

U R L・・・<https://www.gunma-saketsugu.jp/>

代表者・・・清水 大輔

設 立・・・2019年10月1日

WEBサイト



事業者紹介

群馬県産の日本酒「群馬の地酒」の消費量と価値を上げることを目的に、WebサイトやYouTube、SNSでの情報発信や様々なコンテンツとコラボしたイベントの企画・運営、地酒のセレクトやイベント等での出店、アテンド、講演などを行っています。

これらの活動を通じて、群馬 SAKE TSUGUは地域の伝統産業である地酒の魅力を発信し、消費拡大と地域活性化に貢献しています。

酒類販売媒介業免許を取得しています。

経緯・背景

代表の清水が群馬県庁にて15年勤務する中で、地域経済振興業務として「群馬の地酒」を担当したことがきっかけです。

「群馬の地酒」は地域の伝統産業ですが、人口減、一人当たり消費量減などによって、消費量の減少が続く、県内の酒蔵数も減少が続いています。

仕事を通して、地域の伝統産業を継承し、発展に向けて取り組んでいる「群馬の地酒」の蔵元の人たちに出会い、人や取組、地酒の魅力に触れ、自分自身も一個人として業界の発展に寄与したいと県庁退職後、群馬 SAKE TSUGUを開業して事業に取り組んでいます。

地酒を核とした 地域資源とのコラボによって 地域の活性化にチャレンジ

具体的な取組・成果

【取組】

- ・「群馬の地酒」に関する情報をWebサイトやSNSで発信
- ・コロナ禍からYouTubeライブ配信を蔵元にも出演いただき200回以上開催
- ・県事業を受託し、群馬イノベーションアワード2020で発表したビジネスプランを実施(UCHI SAKE:地酒と食のお試しセットの販売及び生産者出演のライブ配信)
- ・国税庁のモデル事業に群馬県酒造協同組合が採択されたプロジェクトのマネージャーとしてイベント運営(群馬EnjoySAKEプロジェクト:ザスバやFMぐんまとのコラボ、飲食店周遊イベントなど)
- ・県内大学生を対象とした「群馬の地酒」動画コンテストを企画、運営(群馬県酒造組合主催事業)
- ・ファン拡大、すそ野を広げる取組として、温泉やイタリアン、肉や中華などとコラボしたイベントを開催

【成果】

- ・総務省が発表した2020年家計調査で、前橋市の1世帯当たりの清酒(日本酒)年間支出額が全国1位(コロナ禍毎週配信のYouTubeライブも寄与?)
- ・YouTubeチャンネル登録者数1,190人、SNSフォロワーFacebook819人、Instagram 1,043人、X 603人(2025年1月末現在)
- ・大和屋珈琲から依頼を受け、新商品開発により、新たな市場にPR



当社にとってのSDGsビジョン

地域に根ざしてきた伝統産業「群馬の地酒」の魅力を多くの方に知っていただき、地域の資源の価値を多くの方に感じて誇っていただけるような活動を通して、伝統産業の継続、発展に寄与してまいります。

地酒を核とした地域資源とのコラボによって地域の活性化に寄与していきたいです。

今後の展望と求めるパートナー像

- ・「群馬の地酒」とコラボしていただける食や伝統工芸、観光など地域の魅力あるコンテンツ
- ・当該コンテンツをおつなぎいただける関係機関
- ・このような活動を資金的、人的にもサポートいただける機関



株式会社ケーウィル

人と食と住の持つ力の
ハーモニーにより
ウェルビーイングなまちづくりを



高崎市

住 所・・・高崎市江木町398-3
T E L・・・080-4451-1332
U R L・・・<https://www.kwill.net>
代表者・・・賀川 裕司
設 立・・・2023年6月1日
資本金・・・3,000千円
従業員・・・3名



／ ／ 事業者紹介

当社は、高崎市を起点に「人と食と住の持つ力のハーモニーにより、ウェルビーイングなまちづくりにつながる」をパーパスとして掲げ、不動産企画管理(住)・飲食店経営(食)・経営コンサルティング(人)の事業を展開しています。

バーパスの実現に向けて、前橋市元総社町に社会課題の解決に向けたコンセプトタウンとして、「蒼海宿(おうみじゅく)」をプロデュース。地域貢献を兼ね備えたテイクアウト系飲食店「蒼海宿あかり」事業では、地産地消と食のイノベーションに向けた取組を推進しています。

／ 經緯・背景

ポストSDGsとされるウェルビーイングに向けて取り組んでいます。

当社は、得意機能相互活用によるつながりで、住→食→人の順番に様々な仕掛けを行ってまいりました。そのために、産学官民間わず多方面に渡り連携し、地元密着のスタイルでコミュニケーションを深めてまいりました。

先端技術を活用したDXでトレンドに適応し、「不易流行」に基づく施策を実行することで、後世に残せるランドマーク的な存在を目指して、「蒼海宿」を題材に進化させていくまちづくり活動を行っています。

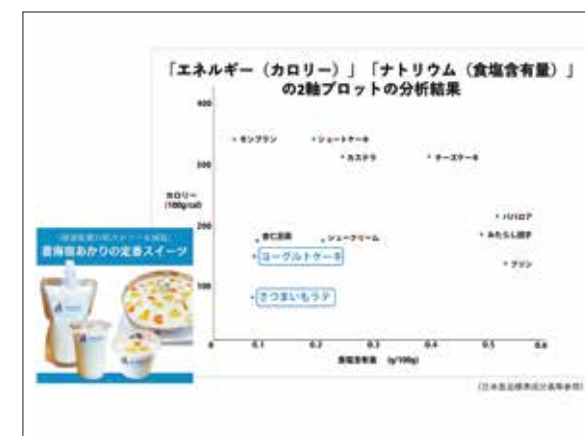
「蒼海宿あかり」で 地産地消と 食のイノベーションに取り組む

／ 具体的な取組・成果

これらのマーケティング活動を通し、経済価値と社会価値の両輪による経営を実践しています。

【成果および期待】

- ①「蒼海宿」の企画と活用によるリアリティのある提案活動
→体験・体感・コミュニケーション・見える化・オープンイノベーションの実現
- ②旧前橋城と国府へ蒼海城の歴史探訪(新たな歴史まちづくり)につなげる建築物を、宮大工と地元の建築家と地元の有識者等とのコラボにより実現
→これに自然を加えた住環境の見える化と動機づけによるシチズンプライドの醸成
- ③地元の大手農業系企業との連携による健康増進にも繋がるスイーツ系ラテの開発と事業化
→地産地消のサプライチェーン構築による食のイノベーションへの挑戦
- ④飲食業における有機栽培野菜の使用と添加物削減等による独自性のある献立・メニューの連動
→健康経営の実践
- ⑤飲食店における体験型おにぎりの商品化
→地産地消サプライチェーンの構築とワンコインおにぎり等による幼児及び児童教育の推進
- ⑥中小企業診断士協会との連携による起業～新事業化
→展開ストーリーの策定による見える化と共用
- ⑦非認知教育の促進に向けた近隣の認定こども園との連携
→食育事業の推進
- ⑧世界中のトレンドと未来都市像を見据えて、先端技術と企業連合による新モビリティや防災&減災対策等の新たな仕組みの導入に向けたロビー活動
→産官学連携・DXの推進と実現



当社にとってのSDGsビジョン

ウェルビーイングなまちづくりに向けてSDGs
を実践しています。

産官学及び住食人との連携を念頭に、食を起点にした「蒼海宿あかり」をアンテナショップとその実践の場として活用することで、経済価値と社会価値の双方を向上させていきます。

今後の展望と求めるパートナー像

シチズンプライドの醸成と地産地消等地域
 ならではの資産の発掘と活用により、知と知の
 深化と探求によるイノベーションに向けた活動
 を念頭に進めていきます。

農業・建設業・製造業(特に半導体系)・食品関係・防災&減災関係・モビリティ関係・IT関係等多岐に渡る企業や団体とのコラボを推進してまいります。



株式会社ジェイ・エヌ・エス

「共感型100年企業」を目指し さまざまな取組を始動



高崎市

住 所・・・高崎市西横手町391-60

T E L・・・027-350-1010

U R L・・・https://jns-web.co.jp/

代表者・・・六本木 利春

設 立・・・1991年8月8日

資本金・・・20,000千円

従業員・・・46名

WEBサイト



事業者紹介

当社は、高崎市に本社を置き、企画・制作からアフターフォローまで「ワンストップ型のオーダーメイドソリューション」をご提供する広告企画制作会社です。「すべてのお客様と社員が歓びを分かち合う『共感型100年企業』」を経営理念に掲げ、お客様の意向をしっかり汲み取り、達成目的・目標を主眼に据えた適切なプロモーションプランをお届けしています。また、上質な仕事を通じて「社員の夢をカタチにかえる企業であり続けること」を目指しています。

経緯・背景

当社の経営理念である「共感型100年企業」を目指すためには、ESG経営を基軸としたSDGsの取組を行っていくことが必要不可欠と感じ、創業30年を迎えた2021年より、社内におけるSDGsプロジェクトを始動いたしました。

当社は広告企画制作会社であるため、本業であるクリエイティブな仕事を軸にして、社会課題を解決し、持続可能社会に寄与できる仕事を創出することや、2030年以降を見据えた社会にマッチした持続可能な事業者に変貌していくことを目標として活動を行っております。

持続可能な社会に貢献する 企業のさまざまな取組を インタビューサイトで応援

具体的な取組・成果

●地域課題解決への取組

2023年より農林水産省が推進するローカルフードプロジェクト事業の事務局運営をサポートしています。地域の課題に向き合い、当社の強みである情報発信を通じて地域内事業連携や新たなビジネスマッチングなど、課題解決につながる活動を行っています。

●共感しあえる幸せな社会への取組

広告制作会社の本業を生かし、様々な事業者様のSDGsへの取組を「共感」し合うことができるWEBサイトを2023年5月にリリースしました。

現在6事業者のインタビューを掲載しており、今後も紹介数を増やしていく予定です。

WEBサイト

つたえてtsutaeteー

https://tsutaete-sdgs.com



●自然環境改善への取組

・当社保有の車両台数を削減し、ハイブリッドカーへ変更(11台中4台)。また、在宅勤務・テレワーク勤務や時間外勤務回避などを推進し、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。
・請求書・契約書などの資料のDX化(ペーパーレス化)に取り組んでいます。
・事業用として制作する印刷物や販促グッズ、装飾用品などに、再生可能素材の活用を積極的に提案しています。



●働きやすい労働環境への取組

子育てや介護のためのサポート制度を積極的に整備してきました。その結果、厚生労働省施策である「えるぼし(女性の活躍を推進する企業)」と「くるみん(次世代育成を推進する企業)」の認定を受けることができました。さらに時差勤務制度とテレワーク勤務制度の整備を実施、仕事とプライベートとの両立などもフレキシブルに対応できる労働環境になりました。

●その他の取組

- ・健康診断やインフルエンザ予防接種の助成
- ・AEDの導入・設置、救命講習の実施
- ・女性リーダー育成のための研修
- ・人権・ハラスメント研修

当社にとってのSDGsビジョン

当社は経営理念である「共感型100年企業」を目指す指針の一つとして、SDGs17の目標から、PROSPERITY(豊かさ)のカテゴリー(目標7、8、9、10、11)を当社の目標と位置付け、行動指針を作成しました。持続可能な開発目標「SDGs」を支援し、ステークホルダーと地域の未来に持続可能な成長と感動を提供します。

今後の展望と求めるパートナー像

これまでの知見や人脈を生かし、各地域の課題解決に向けて、さまざまな企業や自治体と情報連携を行い、新たな社会課題解決型事業の立ち上げ等を行っていきたくと考えています。また、共に次世代への貢献を考えていけるパートナー(個人含む)と連携をして事業を加速していきたくと考えています。



しののめ信用金庫

付加価値の高い地域の活性化策や 魅力の向上に資する 積極的な取組を行う



富岡市

住 所・・・富岡市富岡1123

T E L・・・027-330-1175(本部)

U R L・・・<https://www.shinonome-shinkin.jp/>

代表者・・・横山 慶一

設 立・・・1925年6月25日

資本金・・・10,805,929千円

従業員・・・650名

WEBサイト



事業者紹介

群馬県の中南部と埼玉県の一部を中心に41店舗、1出張所を展開。地域の皆様に価値を創造する「価値創造金庫」を目指すことを経営方針とし、目先の利益ではなく長い目でお客様のためになる提案や活動を実践するよう努めています。2025年6月には創立100周年を迎えます。これまでの歩みに感謝し、今後も当金庫の企業理念「愛本位主義」を胸に未来への希望と共に地域社会の発展に貢献してまいります。

経緯・背景

少子高齢化、都市部への人口流出、中心市街地の空洞化など、地域社会が抱える課題は、「地域との共存共栄」を目的とした協同組織である信用金庫にとっても真剣に向き合わなければならない重要な経営課題の一つであると考えています。当金庫では、金融サービスや本業支援を通じたソリューションの提供だけでなく、しののめ信用金庫らしい付加価値の高い地域の活性化策や魅力向上に資する取組を積極的に行っております。

人と人をつなぐ「つどにわ」 地域とお客様の進化に 貢献する建造物に

具体的な取組・成果

「人と人」をつなぐ場所をつくり、 地域の未来に貢献する

2022年9月前橋市千代田町にある前橋営業部が大規模なリノベーションを経てリニューアルオープンしました。リニューアルした前橋営業部は金融機関の一店舗という枠を超え、人と人のつながりを生み出し、地域に愛着を持つきっかけを提供できる場所を目指して運営を行っております。

●つどにわ

店舗に隣接した広場「つどにわ」では、同じ敷地内にあるエフエム群馬とともに地域の賑わいにつながる様々なイベントを開催しています。



●コーヒースタンド

建物1階にはコーヒースタンドが併設されており、金融機関に用事がない方も気軽に立ち寄り、コーヒ一片手に交流できる場となっています。

●つどにわライブラリー

建物2階は、地域の皆様へ開放したフリースペースとなっており、「世界を広げる本」をテーマに選書した本400冊を自由にお読みいただけます。勉強や仕事をする場としても活用され、学生から社会人まで多くの方にご利用いただいております。



●つどにわホール

建物3階には約70名が収容できるホールがあり、一般の方にも貸出を行っております。これまでに会議や研修の他、ラジオの公開収録、地元高校生によるギター・マンドリン演奏会、フルート・ピアノのコンサート会場としても利用されています。



リノベーションした前橋営業部は、旧前橋信用金庫の本店として昭和39年に建築され、耐震化の問題等から建替を行わなければいけないことが懸案となっておりました。当初は、旧建物を解体してからの新築を予定しておりましたが、古いものを大切に、温暖化ガスの低減もできるとの考えによりリノベーションによる建物再生に取り組んだものであります。そもそも信用金庫の活動の趣旨は「地域とお客様の歴史、関係性を引き継ぎながら、未来に向かって地域とお客様の進化に貢献する」ことであり、地域の継続性を象徴する建築物として再生できたと考えております。

当社にとってのSDGsビジョン

企業理念「愛本位主義」に基づくSDGs宣言

当金庫では「愛本位主義」を企業理念とし、全ての発想の原点を人間愛のなかに求め、「幸福の創造」を願い、「個々の成長」を喜び、「地域の未来」を思い、「日々の健全」を誓い、愛ある行動の実践を追及しています。こうした当金庫の企業理念はSDGsの理念と完全に一致するものと考え、2021年9月にSDGs宣言を公表しました。

今後の展望と求めるパートナー像

パートナーシップを強化しSDGsの達成に貢献

地球環境問題への対応、誰一人取り残さない(well-being)社会の実現など、地域や企業が対応すべき課題は多様化しています。地域金融機関として自ら率先してこれらの課題に取り組むことはもちろん、地域の事業者の方々のSDGsにかかる取組を十分にサポートできるよう、地域の人や企業、自治体、専門機関などとのさらなる連携強化を進めてまいります。



生活協同組合コープぐんま

助け合いの精神が
毎日の生活を支える
生活基盤に



📍 桐生市

住 所・・・桐生市相生町1丁目111
T E L・・・0277-52-7711
U R L・・・<https://gunma.coopnet.or.jp/>
代表者・・・大貫 晴雄
設 立・・・1956年4月23日
出資金・・・6,251,580千円
従業員・・・1,334名



事業者紹介

群馬県の約4割の世帯が加入する、県内最大の消費者団体であるコープぐんまは、「私らしい暮らしづくりの応援」をテーマに、毎日の暮らしを支える生活基盤となるため、店舗・宅配・共済・福祉・イベント・生産者との交流などさまざまな活動を展開しています。その活動を通して、群馬県に今まで以上に多彩で豊かな暮らしの文化が花咲くことをめざし、「CO・OP ともに」はぐむくらしと未来」という理念のもと、持続可能な社会の実現と地域社会の発展に寄与しています。

経緯・背景

コープとは英語の協同組合「co-operative」の略です。農業協同組合や漁業協同組合などさまざまな協同組合がありますが、消費者の協同組合は生活協同組合（生協）で、「コープ」とも呼ばれています。一人ひとりの消費者が暮らしのさまざまな願いを協同し、たすけあいながら実現していく消費者の組織、それがコープです。一人ひとりが「出資金」を出し、事業や活動の「運営」に参加し、「利用」する協同組合です。

環境保護や食育を通じて 未来へつながる活動を実施

具体的な取組・成果

- 事業内容は店舗・宅配・共済・福祉・サービスであり、群馬県内の組合員数は340,840人（2024年3月20日現在）。
- 群馬県と県内33市町村と「見守り協定」、全市町村と「災害時協定」を締結しています。
- 環境保護活動
 - ・沼田市市民の森への植樹・間伐
 - ・河川の清掃・いばらきコープと合同で大洗海岸の清掃活動
 - 平和活動
 - ・子どもたちが子どもたち同士で平和の大切さを伝え合う取組（ピースクラブ）
 - ・8月に広島で開催される『ピースアクションinヒロシマ』への参加
 - ・長野県の無言館・松代象山地下壕への見学会開催
 - ・平和企画映画上映会を開催
 - 食育の取組
 - ・お米づくり体験（田植え・収穫）
 - ・小松菜、キャベツ、レタス、下仁田ネギ、ブロッコリーなどJAの協力による収穫体験



2023年度からコープぐんまの奨学金制度を開始し、群馬県に在住のひとり親・両親がいない家庭の高校生・高等専門学校生に3年間、毎月1万円を給付しています。2024年度は34名の奨学生に給付しました。

奨学金は「奨学金応援サポーター」として登録いただいた組合員の寄付から給付しています。11月には奨学金応援サポーターが1,500名を超えました。また、「組合員のくらし」と「地域のニーズ」を協同の力で実現する社会を創っていくため、「未来つながり助成」として団体へ寄付しています。未来つながり助成は2001年からスタートし、寄付は189団体948万円となりました。



当組合にとってのSDGsビジョン

理念「CO・OP ともに」はぐむくらしと未来」が示す方向は、国際社会の共通目標であるSDGsと同じです。また「未来へつながる」をスローガンに掲げ、SDGs重点課題の目標達成に向け取組を進めています。

今後の展望と求めるパートナー像

助け合いの心と協同の力が生み出す「ともに」の力で未来をきりひらき、誰ひとり取り残さない社会を創ること。私たちが掲げた目標は、コープぐんま単独では実現することが困難です。目標の達成状況、取り組む姿勢を社会に向けて発信することで、同じ志を持つ企業・団体とつながり、ともに達成を目指していきたいです。



有限会社ツトム食品

厳選した群馬県産原料の 伝統的なこんにやくづくりで 世界へ挑戦



〒 富岡市

住 所・・・富岡市野上138-1
T E L・・・0274-62-4806
U R L・・・<http://tsutomu-foods.co.jp/>
代表者・・・土屋 智久
設 立・・・1994年2月14日
資本金・・・3,000千円
従業員・・・19名

WEBサイト



事業紹介

当社は1994年創業以来、こんにやく製造事業を行っています。こんにやくの品質は水質の影響を受けやすく、富岡市西部の山に囲まれた場所にあり、綺麗な空気と水が流れる野上川の横で、HACCP(JFS-B規格)認証を受けた工場生産しています。

当社のこんにやく製造技術は、長年、大手の下請企業として厳しい品質要求をクリアしてきた技術力を有しており、その技術を活用して生まれたフレーバーこんにやく商品は他社が真似できない独自の配合で、味および食感はお客から好評をいただいています。

近年は輸出事業にも力を入れ、事業の第2の柱になっています。

経緯・背景

創業から25年経ち、先代から世代交代が近づくにつれ、下請企業であるがゆえの薄利であることの危機感や、品質の良い商品を作っても製造者の顔が表に出ないというモヤモヤ感が社内に漂っていました。更に新型コロナウイルス感染拡大で取引先から受注量が減少し、事業存続の危機にありました。

このような中、こんにやくの国内需要が縮小傾向にあるのに対し、海外では日本食ブームや健康食への関心が高まっており、国や県では農産加工品の輸出を推奨しているということから、輸出事業にチャレンジすることとなりました。

輸出事業への参画で 産官学連携の活動拡大や 社員の働きがいも創出

具体的な取組・成果

●当社の輸出事業が軌道に乗るまでの取組について紹介します。

＜2018年＞自主的にベトナムを視察し、輸出商談をするために必要なアイテム(名刺やパンフレット)を制作するところからスタートしました。同時期にJETRO群馬が開所したことより輸出実践塾の1期生として参加することで、輸出に必要なことを学びました。

＜2019年＞FOODEXなどの展示会へ出展し、パッケージリニューアルや、海外で商標登録を行い、エストニア国へ輸出することができました。

＜2020年＞新型コロナウイルス感染拡大に伴い展示会が中止となりましたが、ネット販売サイト、PR動画、英語版Webサイト作成など、輸出拡大に向けての準備を行いました。

＜2021年～2022年＞コロナ禍にありオンラインにて商談を進めるとともに、戦略商品であるフレーバー商品のデザインリニューアルなどを行いました。当社製造工場においては、2021年7月にHACCP(JFS-B規格)認証を取得しました。

＜2023年＞リアル商談会へ切り替わり、海外バイヤーの視察受入れなどを行うことで、12アイテム、延べ17カ国に輸出実績ができ拡大しています。



商品開発

海外ではこんにやくに対して低価格、寒い時期の食材などの固定概念がないため、高級感を出すパッケージ開発、ヌードル状の食べ方提案、枝豆などのフレーバー商品を開発する工夫をして訴求しています。

商談

商談管理表を作成しスピーディーな商談を心掛け、商談相手が求めていることを先回りして提案しています。また現地バイヤーの活動時間を考慮して、スムーズに交渉できるよう工夫しています。

支援機関との連携

JETRO様にはハンズオン支援等に参加させていただきました。金融機関が主催する商談会へ参加し、取引先拡大に活用させていただいています。ヴィーガンイベントにも積極的に参加することで県内企業と連携しています。地域に紹介する機会にも恵まれ、県、JETRO、県内大学などで紹介させていただきました。

人事面の取組も紹介します。

女性が中心の働き方として、①子育てと仕事の両立、②子育て中でも実社会とつながっている、③子育て中の母親が先輩に子育てについて教えてもらえる環境づくりをしています。例えば、働く時間の自由度を高く設定し、違う仕事との掛け持ちや、子供の体調や行事で途中退席も可能とし、従業員はどんな仕事でもできるようにフォローしあっています。また、経営者が現場に入り、同様の立場と目線で働くことで製造現場の気持ちを把握して、運営方法に反映しています。年1回は従業員と1対1で話し合う機会を設け、従業員の悩みを直接聞けるようにし、すぐに改善できるようにしています。

賃金に関しては、最低賃金ベースで時給を設定するのではなく、当社の仕事の負担を考慮した結果、時給を最低賃金から300円アップしました。

当社にとってのSDGsビジョン

過酷な製造現場のため従業員の健康管理を重点的に行い、お互いを尊重して協力できる体制づくり、働きやすい環境へ改善を続けていきます。また2、3年後に新工場を建てる計画があり、エネルギーの効率化を取り入れた工場にする予定です。

今後の展望と求めるパートナー像

販売面において国内が中心は変わりませんが、新たな市場として海外販売も進め、国内外でシームレスにこんにやくが流通できるようにしていきます。具体的には、EU規制に対応できる包材への変更を検討しています。

仕入れ、取引先、商社、行政、各支援機関と綿密に連携し、ニーズに対応していきます。



合同会社紬・組

伝統ある「館林紬」の魅力を発信し
地域の方々との交流を通して
持続可能な地域社会の発展に貢献



📍 館林市

住 所・・・館林市仲町5-47

T E L・・・090-3605-6514

U R L・・・<https://tatebayashi-tsumugi.com/>

共同代表・・・安楽岡紀子 飯塚はる香 中村喬

設 立・・・2023年7月6日

資本金・・・300千円

WEBサイト



🏢 事業者紹介

群馬県館林市に拠点を構える当社は、地元の伝統織物「館林紬」を現代のライフスタイルに調和させた商品の開発やデザインを手掛けています。伝統を守りながらも革新を取り入れ、地域の文化を未来に繋ぐ活動を展開中です。改装中の拠点では、手織り織機を導入し、手織り体験やワークショップを通じて「館林紬」の魅力を発信しつつ、地域の方々との交流を深める場としても機能させ、持続可能な地域社会の発展に貢献していきます。

🗨️ 経緯・背景

「館林紬」は、2019年に日本遺産として登録された「里沼～『祈り』『実り』『守り』の沼が磨き上げた館林の沼辺文化～」の構成要素の一つとして認定されています。しかし、市内に残る織物屋は1軒のみとなり、すでに生産は途絶え存続が危ぶまれております。その現状を目の前にして、歴史ある「館林紬」を未来に繋ぐため当社は設立されました。地元で最後の織物屋となった山岸織物様の協力も得られたことから、その価値を再構成し、次世代へ伝えることを目指しています。

産官連携で商品開発や 地域活性化に取り組み 海外進出も視野に

📌 具体的な取組・成果

「館林紬」を現代のライフスタイルに調和させる商品開発やデザインを手掛けています。ネクタイ、てぬぐい、文房具（一筆箋・マスキングテープ・スタンプインク等）、Tシャツなどのプロダクトを生み出してきました。これらの商品は、「館林紬」再興のシンボルとして掲げたデザイン「日日凜（にちにちりん）」を活かし、伝統の魅力を新しい形で発信しています。ネクタイは桐生市の織物工場で製造、文房具は市内の老舗文房具店とコラボするなど県内事業者と開発しています。他の商品に関しても、品質にはこだわり、確かな技術を持つ国内企業と組ませていただき日常の中で長く使っていただける商品開発を心掛けております。



地域コミュニティや企業とも積極的に連携しています。

・館林市「市制70周年記念式典」記念品トートバックを制作

・全国展開している地元コーヒーショップや生活雑貨店とのワークショップ開催

・市内工場のイベントにてスタッフウェアとのコラボ

・市内事業者の商品のパッケージコラボ

など、さまざまな形で「館林紬」に触れる機会を提供し、認知の普及にも尽力しています。

改装中の拠点「ツムギトエンガワ」では、手織り織機を導入し、伝統的な技術を体験できる場を提供する予定です。この場所は、織物体験やワークショップの開催に加え、「館林紬」の文化的背景を発信する拠点として活用します。また、地元の人々との交流を深める場としても機能し、「館林紬」を通じたコミュニティ形成を促進する役割を担います。



当社にとってのSDGsビジョン

紬・組の名前には、「紬」を通じて、さまざまな人、企業と「組」んで、この伝統文化を未来へ紡ぎたいという想いが込められています。「館林紬」を活用した持続可能な商品開発や地域活性化の取組を通じ、伝統文化の保存と新しい価値創造を両立し、社会に貢献していくことを目指しています。

今後の展望と求めるパートナー像

今後は、地元での商品開発やワークショップなど、地元を拠点とした活動を継続しつつ、海外展開も視野に入れています。地域文化を未来に繋ぐ取組を、消えゆく各地の伝統織物へ横展開し、価値を再構築して世界へ発信したいと考えています。海外進出に強みを持つ企業と連携し、さらなる発展を目指します。



株式会社ファン・ビルダーズ

「愛しさ」が宿る家づくりを通じて 環境問題の解決へ



前橋市

住 所・・・前橋市鶴光路町765

TEL・・・027-287-4011

URL・・・<https://www.fan-builders.com/>

代表者・・・切本 亮

設 立・・・2023年4月3日

従業員・・・9名

WEBサイト



事業者紹介

ファン・ビルダーズは、2023年にLIXILグループから独立。より地域に密着しながら新築事業・リフォーム事業を通じて、持続可能な社会の実現を目指している会社です。

私たちにとっての「いい家」とは、単に建築のクオリティーが高いだけでなく、オーナー様の家に対する「愛しさ」が深まることで初めて完成し、さらにその「愛しさ」が「いい家」を長持ちさせると考えています。会社の知名度や高価な材料だけでは真の「いい家」は実現できません。お客様との丁寧な話し合いを重ねて、ひとりひとりの理想を再現する設計力。いつ見ても綺麗な現場にも表れている職方との深い信頼関係により成り立つ施工力。そして私たちの最も大切な使命は、その先にあるオーナー様の暮らしを見据えた家づくりです。

経緯・背景

住宅事業は売って終わりのフロービジネスになりがちですが、私たちはオーナー様になっていただいてからが始まりと捉えています。「スクラップ&ビルド」が環境問題に発展する中、社会資本に関わる者として、一人でも多くの方に「家への愛しさ」を感じていただき、その輪を広げることが持続可能な社会の構築に繋がると信じております。

環境・社会・経済の側面から 課題解決 持続可能な社会の実現へ

具体的な取組・成果

テレワークやフレックス制度、DXの促進などを積極的に実施することで、社員の内、3割が他県在住という雇用の流入に繋がっています。そんな当社は、環境・社会・経済を3本の軸として事業を展開しています。

●環境ーすべての人にCO₂ゼロの暮らしを提供する

- 持続可能な社会の実現に向け、HEAT20 G2グレード(断熱等級6相当)を基本スペックとし、さらには高効率機器や太陽光発電の積極的な採用で、すべての人にCO₂ゼロの暮らしをご提供します。
- ・高効率機器の導入や太陽光発電等の自然エネルギー活用への取組
 - ・BELS・ZEH住宅・長期優良住宅への対応
 - ・性能改善リフォーム(窓リフォーム～スケルトンリフォーム)への取組



●社会ーすべての人に安全安心で住み始めた瞬間から心地よさを感じ、時を経てさらに「愛しさ」が深まる家を提供する

- 大切につかっていただく喜びとなり、持続可能な社会へと繋がります。
- ・レジリエンス住宅の提供による災害時への備え
 - ・高気密高断熱住宅の提供による予防医療への貢献
 - ・リフォームやメンテナンス体制の充足による社会資本の整備



●経済ーすべての人が人間らしく生産的な仕事ができる社会をつくる

ファンと共に地域社会を笑顔にするためにまずは自分たちが笑顔で働ける職場環境が重要と考えます。

- ・フレキシブルな働き方の提供(テレワーク・フレックス制度)
- ・65才以上の雇用継続
- ・道路交通事故の撲滅(安全運転補助機能・アルコールチェック)
- ・オフィスカジュアルの導入



当社にとってのSDGsビジョン

サステナビリティ重点取組項目を以下のとおり設定しております。
この3つの視点から社会・地域課題の解決に貢献してまいります。

- すべての人にCO₂ゼロの暮らしを提供する
- すべての人に安全安心で持続可能な住居を提供する
- すべての人が人間らしく生産的な仕事ができる社会をつくる

今後の展望と求めるパートナー像

「地域密着」を一つのテーマとし、積極的に地元企業と連携、さらには家を建てていただいたオーナー様向けのイベントを開催し、ファンと共に地域社会を笑顔にする活動を積極的に行ってまいります。また新築住宅だけではなく、「性能改善」をテーマにしたリフォームを行うことで持続可能な社会に対する貢献を目指します。



株式会社MATSUMURA

お客様目線の 安心安全なものづくりで 社会課題の解決にも貢献



所在地 太田市

住所・・・太田市脇屋町919-1

TEL・・・0276-55-5611

URL・・・<https://matsumura-clover.com>

代表者・・・古川 仁章

設立・・・2005年12月1日

資本金・・・10,000千円

従業員・・・28名

WEBサイト



事業者紹介

1967年10月にパイプ端末加工機の専門メーカーとして創業し、現在はパイプ加工部品メーカーとして自動車や産業用機械の配管部品を製造しております。

パイプ加工は切断から端末加工、曲げ、鉄・SUS炉中ろう付け、検査と一貫した生産体制を組み、試作から量産まで小ロットから、お客様の目線に立ってご要望にお応えします。

「ものづくりはひとづくり・モノづくりの愉しさを・ものづくりのプライド」を大切にしています。

経緯・背景

2007年(制度開始の翌年)から「群馬県環境GS認定事業者」の認定を受け、今年で継続18年目となりました。CO₂排出量の削減を中心に環境問題に取り組んでまいりました。SDGsの達成に向けて、社内外に好循環を生み出し、PDCA(計画-実行-評価-改善)サイクルに沿った継続的な取組および改善を推進してまいります。

「ものづくりはひとづくり」の理念に基づいたSDGsビジョンで 活気ある職場づくりを実現

具体的な取組・成果

- ①「ISO9001」認証の取得継続により、熟練した技術力と品質管理を徹底し、豊かに暮らせるモビリティ社会に貢献します。
- ②FCV用の水素配管金具等ステンレス部品のろう付け等によりモノづくりを追求し、「脱炭素社会」実現に向けたサービスを提供します。

水素炉を活用した
ステンレスのNi(ニッケル)ろう付けです



- ③環境マネジメントシステム「群馬県環境GS」認証の取得継続により、PDCAサイクルを強化し、環境を意識した行動を促進しています。また、科学的根拠に基づいた目標達成を目指し、「SBT」の認証を取得しています。
- ④事務所及び工場のLED化等各種エネルギーの使用量を把握し、省エネに向けた取組やペーパーレス化を推進します。
- ⑤女性や外国人活躍の場を拡大し、多種多様な人材が輝く職場を提供します。('いきいきGカンパニー'の認証を取得しています。)
- ⑥柔軟な勤務形態を整備し、ワーク・ライフ・バランスを意識した活動を実践しています。

- ⑦地元町内会への寄付等地域貢献活動を通じて、地域に根差した企業を目指します。
- ⑧職場体験や工場見学を受入れ、未来の人材を育成します。
- ⑨地域の女子スポーツチームを支援し、就業先としても協力します。



当社にとってのSDGsビジョン

「ものづくりはひとづくり」の理念に基づいた当社の企業活動は、SDGsのビジョンと同じ方向を向いています。

安心安全なものづくり、活気ある職場づくり、女性にも働きやすい職場づくりを達成していくことで持続的な成長を遂げ、社会課題の解決に貢献していきます。

今後の展望と求めるパートナー像

SDGsの理念に賛同、推進している企業と持続可能なモノづくりを進めていきたいと考えております。

課題に直面する企業とパートナーシップを結び、課題解決に取り組み、お互いに尊重し合える関係づくりを期待しています。



株式会社UBIQUITA

地域のニーズに応じた スタジオやサロンの運営で 地域を豊かに



📍 館林市

住 所・・・館林市松原1-12-34 1F(スタジオ)
館林市堀工町1900-133 アークノダ102(サロン)
栃木県佐野市植野町1873-1 1F(本社)

TEL・・・050-3748-2030

URL・・・<https://ubiquita.co.jp/>

代表者・・・小口 圭祐

設 立・・・2024年7月1日

資本金・・・500千円

従業員・・・2名

WEBサイト



事業者紹介

株式会社UBIQUITA(ユビキタ)は、栃木県を拠点にレンタルスペース事業を展開する企業です。私たちは、スキルを活かして人生を豊かにするための空間を提供し、地域の皆さまが充実した時間を過ごせる環境を整えています。

ダンススタジオやセラピスト向けのサロンなど、多様な用途に応じたレンタルスペースを運営し、地域社会に貢献しています。それぞれの方のスキルを活かした活動を支援し、さらにその皆さまのお客さまにとっても生活が豊かになるような活動につながっています。

経緯・背景

2021年2月から栃木県佐野市を拠点に活動し、多くの方にスペースをご活用いただけてまいりました。2024年7月に法人化しました。

13年間の旅行業界での経験を基に、佐野市への移住後、「チャレンジする人を応援し、増やしたい」という想いからレンタルスペース事業を開始しました。地域のニーズに応じたダンススタジオやセラピスト向けのサロンを提供し、地元の方々がスキルを活かして充実した時間を過ごせる場所を創り出しています。この取組が地域貢献にもつながり、地域経済の活性化を目指しています。

群馬県内では館林市で店舗を展開しています。

空き部屋や空きスペースを 活用したレンタル事業で より多くの人が輝ける空間を

具体的な取組・成果

当社は、地域社会に貢献し、SDGsの達成に向けた具体的な取組を行っています。

●レンタルスペース事業

UBIQUITAは、ダンススタジオやセラピスト向けのレンタルサロンを提供することで、地域のニーズに応じた健康的な生活を支援しています。

多くの方とお話している間に、「場所があれば活動できるのに」「チャレンジできる環境があれば挑戦したいのに」と思っている方が多いことに気づく機会があり、それであれば私が場所を用意し、みんなで使える「場」を作ってみようと考えました。

この場所を使い、ご自身の夢を実現される方、仕事場として週末起業をされる方、独立される方などがこれまでの4年弱で約50名いらっしゃいます。初期費用がかからずリスクがないため、それぞれのライフスタイルに応じた活動ができるようになり、活動の幅や夢の実現、経済活動の活性化などにつながっています。

また、結果的にその皆さまの活動を通し、地域の方が若男女問わずダンス教室に通われたり、セラピストさんの元を訪れることにより地域住民が健康を維持し、福祉を促進するための場を提供することができるようになりました。

◇レンタルダンススタジオ「Studio Kivis」

主にダンス練習をされる個人の方や、ダンス教室を開催される先生にご利用いただいています。

キッズダンスやフラダンス、バレエやヨガなどジャンルはさまざまです。特にキッズダンスは人気で、先生たちがさまざまなジャンルの教室に自ら挑戦し、開催されています。

ダンススタジオを作るには個人の負担では大きすぎる初期費用がかかりますが、リスク無しにご利用いただけることを喜んでいただいています。

今後も「チャレンジしたい!!」という意欲を持った方のサポートを続けてまいります。

◇レンタルサロン「Rental Salon Kivis」

サロンではセラピストさんがスモールスタートできる環境を提供し、チャレンジしやすくすることで、副業や起業、独立の機会を創出しております。

サロンについても初期費用なく始められるため、リスク無くご自身の力を試したり、学びながら小さくチャレンジしていただける環境を整えています。

また、そのセラピストさんのもとに通われるお客さまにとっても、心と身体の健康や美の向上など、地域住民の方の人生の充実度を増す活動に寄与できていると考えております。

●成果と未来への展望

法人自体は設立したばかりですが、これまでの約4年間で、スペースを地域の方でシェアをしていただく事業を進めてまいりました。

本来は空き部屋、空き家になってしまっていた空間を活かすことで、価値あるスペースを生み出せたのではないかと考えております。

さらに、この空間で多くの方々が自分のスキルを活かし、充実した時間を過ごせる環境が整えられています。レンタルスペースを利用して夢を実現した方の数は増え続けており、地域社会における当社の存在感をより一層強めていきたいと考えております。

今後も、SDGsの達成に向けた取組を強化し、地域社会に貢献することで、より多くの人々が輝ける空間を日本中に創り出していくことを目指しています。



当社にとってのSDGsビジョン

当社は「チャレンジしたい」「やってみたい」を実現できる場所を提供し、行動を促す活動を続けてまいります。その皆さまの活動を通して地域社会や地域の方のQOLを上げ、結果的にSDGsの目標達成にもつながるような循環を創りたいと考えております。そのために、しっかりとした経済活動を続けてまいります。

また、大人がチャレンジする姿、大人が一生涯懸命に取り組んでいる姿を見せることで「ああいう人になりたい」「(通っている教室の)先生みたいな仕事がしてみたい」「将来は好きなことを仕事にしたい」など、夢や希望を持てる子どもたちが増えることを願っています。大人のチャレンジを支援することで子どもたちの元気へとつながればと思っています。

今後の展望と求めるパートナー像

今後の展望として、全国に充実したレンタルスペースを拡大し、地域社会にとってプラスの影響を与えたいと考えております。私たちのスペースを活用し、チャレンジされる「ダンサーさん」「セラピストさん」「スキルを持っている方」「スキルを試したい方」を支援し、ともに成長したいと考えております。



リコージャパン株式会社

ワークスタイル変革チャレンジ 「ViCreA」を軸に 多彩な取組で邁進



前橋市

住 所・・・前橋市元総社町527-3(群馬支社)
T E L・・・027-212-1200
U R L・・・<https://www.ricoh.co.jp/sales/about>
代表者・・・篠原 忠士(群馬支社長)
設 立・・・1959年5月2日
資本金・・・2,500,000千円
従業員・・・18,161名

WEBサイト



事業者紹介

リコージャパンは、リコーの販売会社として1959年に設立されました。リコー製品を中心とした商品・サービスの提供をはじめ、業務改善を含めたコンサルティングからシステム構築、アフターサービスまで、さまざまなソリューションをワンストップで提供しています。そして今、「事業とSDGsの同軸化」をビジョンに掲げ、社会課題起点で業務に取り組み、成果を上げることで社会課題解決を加速させたいと考えています。これまで見ていなかったニーズや課題を見つけ、お客様をはじめとするステークホルダーとともに、新たな価値づくりにも繋げていこうとしています。

経緯・背景

リコージャパンは、事業とSDGsの同軸化を推進しています。2016年にCSRレポートをもとに勉強会を行い社内への浸透からスタート。2018年に経営トップがSDGsを経営の中心にと宣言。同年にはSDGsキーパーソン制度が誕生し、各地での取組推進を強化。群馬支社としては、県内の清掃活動やメディアを通してSDGsの発展を県内の企業とコラボし浸透。2023年には地域貢献のため小学生向けに“SDGs出前教室”を開催。SDGsへの興味付けや意識向上を図りました。2024年度も“SDGs出前教室”の活動を継続しています。

「SDGs出前教室」で 持続可能な未来への一歩を 子供たちへ

具体的な取組・成果

- お客様や自治体と協力した清掃活動に参加しています。(赤城大沼クリーンハイキング・前橋嶺公園下草刈り協定・金山清掃・高崎まつりゴミステーションなど)
- FM Gunmaのラジオ番組「SDGsレポート」をリコー・ジャパンが提供しています。
2020年は20団体、2021年は20団体、2022年は22団体の取組を紹介しました。
- SDGs勉強会を企業内研修として提供しています。
研修企業数は10団体(13回)となりました。
- 県内小学校へのSDGs出前教室を開催しています。
【狙い】SDGsの学習を通じて、自分たちに何ができるかを考える。エシカル消費を知り、行動してみる。教室での学びに留まることなく、家族や友達との会話や実践につなげるきっかけの場とする。

【SDGs出前教室実績】

- ① 明和町立明和東小学校: 23年10月24日
- ② 東吾妻町立岩島小学校: 24年1月16日
- ③ 高崎市立上室田小学校: 24年1月29日
- ④ 東吾妻町立坂上小学校: 24年3月5日
- ⑤ 明和町立明和西小学校: 24年7月9日
- ⑥ 中之条町立中之条小学校: 24年7月12日
- ⑦ 高崎市立上室田小学校: 24年9月5日
- ⑧ 明和町立明和東小学校: 24年10月24日
- ⑨ 東吾妻町立坂上小学校: 24年11月5日
- ⑩ 中之条町立六合小学校: 24年11月25日



“SDGs出前教室”の取組により広報誌、新聞への掲載や小学生からのお礼のお手紙をいただきました。

1. 明和町立明和東小学校の出前教室が明和町広報誌(2024年10月11日)に掲載されました。
2. 東吾妻町立岩島小学校の出前教室の記事が2024年1月20日付上毛新聞(西北毛版)に掲載されました。
3. 東吾妻町立岩島小学校の出前教室が広報ひがしあがつま(2024年3月5日)に掲載されました。
4. 高崎市立上室田小学校の5、6年生からのお礼のお手紙が届きました。



当社にとってのSDGsビジョン

「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」創業の精神を原点としたサステナビリティ経営に取り組んでいます。目指すべき社会の実現に向け、「事業を通じた社会課題解決」「経営基盤の強化」「社会貢献」の3つの活動に取り組み、国際社会で合意された「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献していきます。

今後の展望と求めるパートナー像

事業とSDGsの同軸化を掲げ、「製品・サービスを通じてお客様と進めるSDGsへの貢献」と「自社+パートナーと取り組むSDGsへの貢献」に取り組みます。財務目標とサステナビリティ目標の両者を経営目標として設定。お客様とともに、経済・社会・地球環境のバランスの保たれた持続可能な社会に貢献し、“はたらく”喜びの実現を目指します。